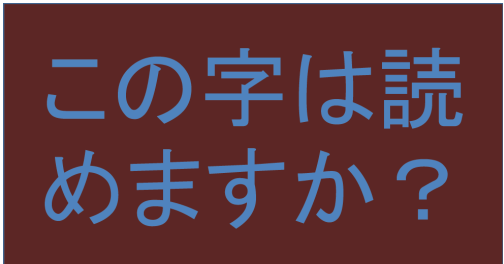


カラーユニバーサルデザインのための効率的な色彩訓練手法の開発

年齢や障害の有無などにかかわらず誰もが同じように使うことの出来るユニバーサルデザインの重要性が指摘されています。この研究では、色に関するユニバーサルデザインを実践できるエンジニアを育成するための、効率的で簡便な手法による色彩感覚の訓練法を開発を試みています。

一般に、色の三属性(明度、色相、彩度)のうち明度は、加齢や疾病、色覚異常によって色の見え方が変化しても、色を見分ける手がかりとなります。製品の配色を決定する作業を効率的に行うためには、色の明度を見分ける能力が重要となります。そこでこのような能力を効率的に習得するための簡便な訓練手法を開発しています。



この字は読
めますか？

健常者によって問題なく読める配色でも、高齢者や色弱の人にとっては非常に読みづらいことがあります。色を扱うエンジニアは、こうした人たちにとっても見やすい色の組み合わせを素早く見つける能力が必要です。

現在、色カードのみを用いて、特別な機器が一切不要な色彩訓練手法を開発、効果の検討を行っています。業務の合間などに気軽に実施できるような方法にすることで、継続的・効率的に独習することが可能になるような教材を目指しています。



田中 吉史 教授

学部：情報フロンティア学部 学科：心理情報学
所属研究所：感動デザイン工学研究所
博士(心理学)。東京都立大学人文学部心理学研究室
助手を経て、平成17年本学講師就任。准教授を経て、
平成26年現職。

Keyword

アートとデザインの心理学 / 創造的思考 / 認知科学